

『かたいクッキーになった!』 5歳児 5月 伏見こども園



エピソード

米ぬかを使って試して遊んでいたA児は、「クッキーをつくりたい」と、米ぬかに少しずつ水や砂を足しながら混ぜました。A児「石鹼も入れてみる」と、おろし器で削った石鹼も加え、感触を確かめながら手でこねていくと、柔らかい生地ができました。A児はチャック付きの袋に生地を入れ、再び手で押ししたり、足の裏で踏んだり、米ぬかを加えたりして、生地をつくりました。保育者も生地の感触を確かめ、「いつもよりもかたいね」と声をかけると、A児「石鹼も入れてみた。調整しながらつくった」と、話しました。B児やC児もA児の声を聞いて、様子を見に来ました。A児はプラスチックの板に生地を広げ、型抜きで形をつくっていきましました。型を抜こうとしましたが、A児「くずれちゃった」と、きれいに形がつかれません。A児は生地に米ぬかを足したり、こねたりを繰り返しながら、つくった生地で型を抜くと、少し形のあるクッキーができましたが、思うような綺麗な形にはなりません。その様子を見たB児やC児も「やってみる」と、一緒に試してみます。B児は型抜きの縁を棒で押しして細かな部分も出せるようにしたり、C児はゆっくりと指先で型を抜き出したりすると、A児「かたいクッキーできた!」、B児「本物みたい」、C児「おいしそう!」と、いつもよりもかたいクッキーができたことを喜び、嬉しそうに友達や保育者に見せました。

子どもの育ちや学び

- ・遊びの中で米ぬかや水、砂、石鹼の量を考えたり、混ぜ方やこね方を工夫したりしています。
- ・思うような生地になるように米ぬかを加えたり、踏んだり、こねたりして繰り返し調整しています。
- ・かたいクッキーやきれいな形のクッキーが作れるように、友達とさまざまな方法を試しながら遊んでいます。できた物を見せ合ったり、気づきを友達に伝えたりすることで、一緒に遊びを楽しむ姿につながっています。

保育者の思い

- ・4月から米ぬかを使ってごちそうづくりを楽しんでいました。水、草花や実を米ぬかと混ぜるなど、いろいろな方法を試して遊ぶ姿がありました。様々なものを混ぜてできる変化のおもしろさや、粘り強く試す姿を感じています。
- ・「どのようなクッキーをつくりたいか」「どうやってつくったか」など、子どもの思いや気づきを引き出したり、保育者も生地の感触やクッキーのかたさを確かめたりすることで、子ども達を感じていることを一緒に味わえるようにしました。
- ・遊びの振り返りの時間をもち、考えたことや、感じたことを友達に伝えることで、次の遊びにつながってほしいと思っています。

家庭だったら・・・

- ・ご家庭でも子どもたちができる料理を一緒にしてみてください。その経験が遊びに活かされるかもしれません。
- ・子ども達はお家の方に話したいことがたくさんあります。遊んで楽しかったことや考えたこと、気付いたことを聞いてみてください。